



# 千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.6.5 No. 3404

## 総評センターが 自衛隊を容認!

五月三〇日、ついに総評センターは、これまでの自衛隊「違憲論」の立場を撤回し「容認論」に転換する方針を決めた。「現実」に存在しているものは認めるのが妥当だ

## 背筋の寒くなる ようなことが...

「湾岸戦争」を前後するこの数か月間の情勢の急変を見てみると、背筋の寒くなるような思いにかられる。十三万回にわたって行なわれた猛爆撃によって「多国籍軍」が「圧勝」すると、「国連平和協力法案」を葬り去った戦争反対の声はどこへやら消え失せてしまった。世論調査は「国民の多数は戦争を支持している」というのだ。そして四月二六日、わずか数か

# NO!

こうしたなかで、戦争増税の九〇億ドル援助・「武力行使」を容認した「連合」路線がいよいよ台頭しようとしている。すでに、「総評センター」を来年三月で解散しろ」という議論までがでてきているのだ。総評センターは、言うまでもなく、反戦平和運動など、「連合」では包みきれない運動を

## 「連合路線」が力を 得ようとしている

継承するという趣旨で設立された。これを解散させて、地上から反戦運動をかき消してしまおうというのだ。実際、二月に予定されていた「自衛隊派兵反対集会」は、「連合」の圧力で中止に追い込まれている。原水禁運動をはじめ、一切の平和運動を一掃してしまおうというのだ。

# 「戦争」について 考える!

★ 6・23反戦闘争に向けて ★



## 戦争が、大手を 振つてのし歩く

社会全体がおかしくなってきた。 「湾岸戦争」が起こる前に、「労働組合」までもが病んでいる。「平和」がはびこっている。しかし、ひとつ角を曲ると戦争がすごい勢いで増殖してきている。今の状況を見ると、戦争がまるで公然と市民権を得てしまったかのように安心してのし歩いている。とにかくいたるところに戦争の兆しが現われてきている。

誰もが「戦争は反対だ」と思いつつながら、戦争が全ての人々を呑みこみ、知らず知らずのうちに協力者にしながら、戦争につき進むプロセスがいよいよ始まったのではないか?

## まさか「まさか」がまさか でなくなる時

多くの人たちは、「まさか今の日本が戦争を始めるなんてことはないだろう」と思っている。しかし、そこで考えなければならぬと思う。戦前の日本やドイツは、国民皆が戦争が好きだったから天皇制の専制支配やナチス・ヒトラーの支配を歓迎し、あれだけの凶暴な侵略戦争に突進していったのだらうか? いくら何でもそんなことはちよつと考えられない。天皇制の専制支配になんで闘えなかったのか、どうして労働組合がべ

(つづく)